

外国籍者の日本入国に関して(査証申請案内)

(2022年7月15日)

【概要】

- ・ コロナウィルスの影響で、日本は水際対策を実施しており、アメリカから日本に新規入国しようとする外国籍者は全員査証が必要です。
- ・ 外国で出生等の理由により、日本国籍を留保している者(重国籍者)は、日本査証の申請はできませんので、[日本旅券を申請](#)してください。
- ・ また、自己の志望によって外国の国籍を取得(米国帰化)した日本国籍の方は、日本国籍を喪失しておりますので、国籍喪失届出を行っていただいた上で、査証申請をおこなってください。

【査証申請条件】

現在査証を申請できる外国人は下記のいずれかに該当する方のみが申請可能です。

- ア) 日本人の配偶者または子(*)、日本永住権保持者の配偶者または子、定住者資格保持者の配偶者または子で、渡航目的が日本居住の親族訪問である者、または日本に居住する予定の者 → 必要書類リストは別添1を参照
- (*) 日本人の配偶者とは、現に婚姻しており婚姻事項が戸籍に記載されている必要があります。日本人の子とは、査証申請者が出生した時、両親または両親のいずれかが日本国籍である者を指します。
- イ) 令和4年2月24日付け水際対策強化に係る新たな措置(27)における「4. 外国人の新規入国制限の見直し」に基づいて商用目的で新規入国する者(90日以内の滞在) → 必要書類リストは別添2を参照
- (注) 日本国内に所在する受入責任者(入国者を雇用又は事業・興行のために招へいする企業・団体等)が、[厚生労働省の入国者健康確認システム\(ERFS\)](#)における所定の申請を完了した場合、商用・就労等の目的の短期間の滞在(3月以下)又は長期間の滞在の新規入国が原則として認められます。本措置は、令和4年3月1日午前0時(日本時間)以降に観光目的以外で新規入国する外国人であって、受入責任者の行った事前申請が完了した者が対象となります。
- ウ) その他の条件に関しては、[英語版の査証申請案内](#)をご確認ください。

【申請方法】

イリノイ州のレイク、マクヘンリー、ケーン、デュページ、クック、ウイル、ケンドール各郡及びインディアナ州のレイク郡にお住まいの方は、開館時間内に窓口にて申請してください。予約は不要です。
当館管轄州内で上記の以外の地域にお住まいの方は、窓口申請又は郵送申請いずれかの方法で申請してください。

【受領方法】

窓口で申請の場合 ➡ 窓口にて受け渡し日をお伝えしますので、その日またはその日以降に受領に来館してください。または、申請時返信用封筒をご提出いただけますと、郵便受領も可能です。

郵送で申請の場合 ➡ 申請処理の都合により、郵送で申請された場合は、郵送での受領のみ可能です。郵送申請時、返信用封筒をご提出ください。

【手続きに要する期間】

原則1週間(開館日5日間)。

ただし、申請内容により、東京の外務本省との協議が必要となる場合があります、このような場合には1週間以上を要します。

【郵便申請および郵便受領の注意点】

当館は、郵送途中に発生したいかなる郵送事故(紛失、盗難、破損等)に対して一切責任を負いませんのでご注意ください。

【申請状況確認方法】

窓口申請及び郵便申請共に、申請状況のご確認をされたい場合には、身分証明書をご持参のうえ当館までお越しください。個人情報保護の観点から電話での進捗状況問い合わせには対応できかねます。

当館で申請を受領後、申請内容等に問題や質問等が発生した場合には当館から申請者に連絡させていただくか、申請書類一式が返送されます。問題や質問等が発生しない場合には、当館から申請者に連絡することはありませんので、指定された受領日以降に受け取りに来館してください。郵送にて受領を希望している申請については、当館での手続きが完了次第、申請時に提出いただいたプリペイド返信用封筒を使用し送付します。

【水際対策(検疫)】

現在の検疫措置に関する各種情報は下記厚生労働省ウェブサイトをご確認ください。

厚生労働省水際対策に係る新たな措置について

(日本語版) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

(英語版) <https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/bordercontrol.html>

別添 1

① 日本人の配偶者又は子、日本永住権・定住者滞在資格保持者の配偶者又は子で渡航目的が日本居住の親族訪問である者:

(査証有効期限:3か月／滞在日数:90日以内の滞在／対象国籍者:アメリカ国籍者含む[査証免除対象国籍者](#))

- 有効なパスポート
- [査証申請用紙](#)
- 申請書に貼り付ける証明写真1枚(6か月以内に撮影されたもので背景無地のもの)
- 日本人の配偶者又は日本人の子である証明

日本人の配偶者 ➡	現婚姻事項が記載された戸籍謄本の原本又はコピー
日本人の子(外国で出生の場合) ➡	日本国籍者親の戸籍謄本及び、査証申請者が出生した国が発行した出生証明書
日本人の子(元日本国籍) ➡	国籍喪失届出事項が記載されている戸籍謄本

- [委任状](#)(代理人申請及び代理人が受領希望の場合必要です)
- アメリカ滞在資格(アメリカ国籍者は不要です)

アメリカ永住権保持者 ➡	グリーンカードの両面コピー
ビザ保持者 ➡	ビザのコピー及び、I-94 (Fビザ保持者は追加でI-20のコピー、Jビザ保持者はDS2019のコピー)

- 査証発給手数料(アメリカ国籍者は免除です。その他の国籍の方は[こちら](#)の#11を確認してください)
- Fedex, UPS のプリペイド返信用送付ラベルと封筒または、USPS の Priority mail, Express mail 用のプリペイド返信用封筒及び、[郵送免責事項確認書](#) (窓口にて申請、受領予定の方は不要です)

② 日本人の配偶者又は子、日本永住権・定住者滞在資格保持者の配偶者又は子で渡航目的が日本居住の親族訪問である者:

(査証有効期限:3か月／滞在日数: 90日以内の滞在／対象国籍者: [査証免除非対象国籍者](#))

- 有効なパスポート
- [査証申請用紙](#)
- 申請書に貼り付ける証明写真1枚(6か月以内に撮影されたもので背景無地のもの)
- 日本人の配偶者又は日本人の子である証明

日本人の配偶者 ➡	現婚姻事項が記載された戸籍謄本の原本又はコピーで3か月以内に発行されたもの
日本人の子(外国で出生の場合) ➡	日本国籍者親の戸籍謄本及び、査証申請者が出生した国が発行した出生証明書
日本人の子(元日本国籍) ➡	国籍喪失届出事項が記載されている戸籍謄本

- [招へい理由書](#)
- [滞在予定表](#)(日本滞在中の行動予定を記入してください)

- 最近月に発行された銀行口座明細書(Monthly Bank statement)
- [委任状](#)(代理人申請及び代理人が受領希望の場合必要です)
- アメリカ滞在資格(アメリカ国籍者は不要です)

アメリカ永住権保持者➡	グリーンカードの両面コピー
ビザ保持者➡	ビザのコピー及び、I-94 (Fビザ保持者は追加で I-20 のコピー、Jビザ保持者は DS2019 のコピー)

- 査証発給手数料 (アメリカ国籍者は免除です。その他の国籍の方は[こちら](#)の # 11を確認してください)
- Fedex, UPS のプリペイド返信用送付ラベルと封筒または、USPS の Priority mail, Express mail 用のプリペイド返信用封筒及び、[郵送免責事項確認書](#) (窓口にて申請、受領予定の方は不要です)

③ 日本人の配偶者又は子で、渡航目的が日本に居住

(査証有効期限:3か月／滞在日数: 91日以上滞在中／対象国籍者: 全ての外国籍者)

- 有効なパスポート
- 査証申請用紙
- 申請書に貼り付ける証明写真1枚(6か月以内に撮影されたもので背景無地のもの)
- 日本人配偶者又は子の在留資格認定証明書
- 委任状(代理人申請及び代理人が受領希望の場合必要です)
- アメリカ滞在資格(アメリカ国籍者は不要です)

アメリカ永住権保持者➡	グリーンカードの両面コピー
ビザ保持者➡	ビザのコピー及び、I-94 (Fビザ保持者は追加で I-20 のコピー、Jビザ保持者は DS2019 のコピー)

- 査証発給手数料
アメリカ国籍者は免除です。その他の国籍の方は[こちら](#)の # 11を確認してください。
- Fedex, UPS のプリペイド返信用送付ラベルと封筒または、USPS の Priority mail, Express mail 用のプリペイド返信用封筒及び、[郵送免責事項確認書](#)

① 商用目的

(査証有効期限:3か月／滞在日数:90日以内の滞在／対象国籍者:アメリカ国籍者含む[査証免除対象国籍者](#))

- 有効なパスポート
- [査証申請用紙](#)
- 申請書に貼り付ける証明写真1枚(6か月以内に撮影されたもので背景無地のもの)
- [厚生労働省の入国者健康確認システム受付済証\(ERFS\)](#)
- [委任状](#)(代理人申請及び代理人が受領希望の場合必要です)
- アメリカ滞在資格(アメリカ国籍者は不要です)

アメリカ永住権保持者➡	グリーンカードの両面コピー
ビザ保持者➡	ビザのコピー及び、I-94 (Fビザ保持者は追加で I-20 のコピー、Jビザ保持者は DS2019 のコピー)

- 査証発給手数料
アメリカ国籍者は免除です。その他の国籍の方は[こちらの](#) # 11を確認してください。
- Fedex, UPS のプリペイド返信用送付ラベルと封筒または、USPS の Priority mail, Express mail 用のプリペイド返信用封筒及び、[郵送免責事項確認書](#) (窓口にて申請、受領予定の方は不要です)

② 商用目的

(査証有効期限:3か月／滞在日数: 90日以内の滞在／対象国籍者: [査証免除非対象国籍者](#))

- 有効なパスポート
- [査証申請用紙](#)
- 申請書に貼り付ける証明写真1枚(6か月以内に撮影されたもので背景無地のもの)
- [厚生労働省の入国者健康確認システム受付済証\(ERFS\)](#)
- [招へい理由書](#)(日本にある招へい機関が記入したものを提出ください)
- [滞在予定表](#)(日本滞在中の行動予定を記入してください)
- 申請人が所属する会社が発行するレターで、(1)会社名、(2)会社住所及び電話番号、(3)申請者氏名、(4)在職期間、(5)詳細な渡航目的、(6)日本滞在予定日数、(7)渡航費、滞在費用等の支弁保証、が記載されたもの
- [委任状](#)(代理人申請及び代理人が受領希望の場合必要です)
- アメリカ滞在資格(アメリカ国籍者は不要です)

アメリカ永住権保持者➡	グリーンカードの両面コピー
ビザ保持者➡	ビザのコピー及び、I-94 (Fビザ保持者は追加で I-20 のコピー、Jビザ保持者は DS2019 のコピー)

- 査証発給手数料
アメリカ国籍者は免除です。その他の国籍の方は[こちらの](#) # 11を確認してください。
- Fedex, UPS のプリペイド返信用送付ラベルと封筒または、USPS の Priority mail, Express mail 用のプリペイド返信用封筒及び、[郵送免責事項確認書](#) (窓口にて申請、受領予定の方は不要です)